

特集：線虫防除の戦略と展望〔5〕

「日本植物病名目録」新版における線虫病の病名について

農林水産省農業研究センター 皆 川 のぞみ

日本植物病理学会において、「日本有用植物病名目録」(以下、「病名目録」と呼ぶ)を改訂するとともに、従来の5分冊を一冊にまとめて刊行するための作業が進められている。このなかで、線虫が原因となる作物の病名の扱いを変更することとし、平成11年4月に新潟で開催された日本植物病理学会の病名委員および日本植物病名目録編集委員による合同委員会でこの方針が承認された。

I 現行の病名表記

病名目録の最新版(日本植物病理学会, 1990, 1993)では、初版以来の表記にならって、線虫が病原となる作物病名の日本語表記として、検出された線虫の和名の語尾に「病」を付けたものを示している。また、病名の英語表記として、線虫の英名に続けて「disease」を付けたものを示している。

採録されている線虫を見ると、シストセンチュウ、ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ等、作物への寄生に伴って明らかな病徴を生じる種類も含まれるが、一方で、ピンセンチュウ、ラセンセンチュウ、ワセンチュウ等のように、根毛、根の表皮、髄等の細胞質を吸引摂食することから作物を加害することは確かであるものの、肉眼的な病徴や生育への影響等の具体的な症状が確認されていない種類も多い。後者はコッホの3原則に基づいた試験は行われていないことになる。厳密に言えば、このような病気(?)は病名目録から削除すべきものであるが、病名目録にすでに収録された病気は新たな版でも引き続き収録する、という基本方針に基づいて削除はしていない。また、別の問題として、ウイルス病のベクターである線虫にも、線虫病としての病名が与えられているということもある。

II 新しい病名表記

新しい病名目録では、線虫が原因となって作物に明らかな症状を生じる場合にのみ病名を与える。病名の日本語表記は、原則として従来のものを継承する。これら以

外の線虫については、「植物寄生性線虫」という見出しの下に各作物から報告された線虫の種名を列記し、各作物と個々の線虫に対応した個別の病名は与えない。ウイルス病のベクターは種名列記の線虫に含め、備考としてウイルス病のベクターである旨を記述する。

また、日本の病名目録と同様の病名英語表記は、イギリス、アメリカ等で刊行された英語で書かれた線虫学の教科書、用語集等を調べたなかでは、使用例はなかった(CAVENESS, 1964 ほか)。日本と同様の表記は、1例だけインドの本に見られた(HUSSAIN and KHAN, 1988)。

新しい病名目録における病名の英語表記は、アメリカ植物病理学会の1985年版病名目録(APS, 1985)、あるいは、欧米の教科書、用語集等で使用されているものを使う。また、同じ作物・同じ線虫の組み合わせで日本と欧米の双方で被害が報告されているものであって、欧米で病名が与えられていない場合は、日本語表記の病名があっても、日本独自の病名英語表記は与えない。

このような例として、シストセンチュウがある。シストセンチュウは日本語表記の病名として原則として「シスト線虫病」を引き続き使用する。ただし、この病名を使うのは、症状あるいは被害が確認された作物に限る。欧米では、シストセンチュウの寄生による症状が主に作物の全身衰弱であるためか、特別の病名を与えていない。日本の病名目録にある「cyst nematode disease」という病名は、前述のように欧米では使われていない。

なお、線虫も被害も日本で最初に発見されたダイズのダイズシストセンチュウについては、病名目録以外では使用例のない「シスト線虫病」および「cyst nematode disease」に代えて、大正の初めから使われてきた「萎黄病」および「yellow dwarf」を採用する(KATSUFUJI, 1919)。これ以外にも若干の変更を行う。

引用文献

- 1) APS (アメリカ植物病理学会) (1985): Pl. Dis. 9(8): 649~676.
- 2) CAVENESS, F. E. (1964): A Glossary of Nematological Terms. Internat. Inst. Trop. Agr., 68 pp.
- 3) KATSUFUJI, K. (1919): Ann. Phytopathol. Soc. Jpn. 1(2): 12~16.
- 4) 日本植物病理学会 (編) (1990): 日本有用植物病名目録, 第1巻, 食用作物・特用作物 (第3版), 492 pp.
- 5) — (1993): 同上 第2巻, 野菜および草花 (第3版), 176 pp.

On the Names of Nematode Diseases in the New Edition of "Common Names of Plant Diseases in Japan". By Nozomi MINAGAWA

(キーワード: 線虫, 病名, 病名目録)